

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	柔道整復実践実技Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	2校舎3階実技室
担 当 教 員	澤 卓実	実務経験と その関連資格	専科教員(平成22年～現在に至る)、認定実技審査員(平成29年:整復実技) 講道館柔道初段(平成29年)、附属接骨院(平成19年～平成26年:柔道整復業務に 従事)			
《授業科目における学習内容》						
毎回、前回の復習を徹底して行う。 実技試験前に認定実技審査形式で練習を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験(整復実技試験に準じた実技試験を実施する。):100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
包帯および三角巾 柔道整復学・理論編(全国柔道整復学校協会監修教科書) 柔道整復学・実技編(全国柔道整復学校協会監修教科書)						
《授業外における学習方法》						
柔道整復理論, 軟部組織損傷, 包帯法の各項目を確認をして、各損傷に対する理解を深める必要がある。						
《履修に当たっての留意点》						
3年生時の認定実技審査で、学生が実力を発揮できるように、2年生から認定実技審査の形式に慣れてもらう。次年度の11月に行われる認定実技合格に向けての第一段階となる。積極的に練習して欲しい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	認定実技審査の内容を理解する。 腱板損傷の検査法を行えるようになる。	プリント	柔道整復学の教科書を用いて腱板損傷の記載を復習しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	認定実技審査の説明、上肢の神経・血管損傷の確認方法、腱板損傷			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	上腕二頭筋損傷の検査法を行えるようになる。	プリント	柔道整復学の教科書を用いて上腕二頭筋損傷の記載を復習しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	腱板損傷、上腕二頭筋長頭損傷			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	大腿四頭筋損傷の検査法を行えるようになる。	プリント	柔道整復学の教科書を用いて大腿四頭筋損傷の記載を復習しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	下肢の神経・血管損傷確認方法、大腿部の損傷(大腿四頭筋)			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	膝の側副靭帯損傷・十字靭帯損傷の検査法を行えるようになる。	プリント	柔道整復学の教科書を用いて、膝関節損傷の記載を復習しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	膝関節検査法1(側副靭帯損傷・十字靭帯損傷)			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	膝の半月板損傷の検査法を行えるようになる。	プリント	柔道整復学の教科書を用いて膝関節損傷の記載を復習しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	膝関節検査法2(十字靭帯損傷・半月板損傷)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	下腿三頭筋損傷、アキレス腱損傷の検査法を行えるようになる。	プリント	柔道整復学の教科書を用いて下腿損傷の記載を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	下腿三頭筋肉離れ、アキレス腱断裂		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	足関節外側靭帯損傷の検査法を行えるようになる。	プリント	柔道整復学の教科書を用いて足関節損傷の記載を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	アキレス腱断裂、足関節外側靭帯損傷		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	三角巾を扱えるようになる。	プリント	柔道整復学の教科書を用いて、三角巾の使用方法を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	提肘三角巾、たたみ三角巾、結び、しまい方		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	上肢の包帯が巻けるようになる。	プリント	柔道整復学の教科書を用いて上肢損傷の記載を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	手～肘、肘～肩の基礎包帯法		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	下肢の包帯が巻けるようになる。	プリント	柔道整復学の教科書を用いて下肢損傷の記載を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	足～膝の基礎包帯法、デゾー包帯		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	体幹の包帯が巻けるようになる。	プリント	柔道整復学の教科書を用いて体幹損傷の記載を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	ジュール包帯、ウェルボー包帯		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	包帯法が出来るように復習する。	プリント	柔道整復学の教科書を用いて膝関節損傷の記載を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	包帯復習		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	前期で習得した各項目ができるようになる。	プリント	柔道整復学の教科書を用いて、各損傷の記載を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	実技試験形式での復習		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	前期で習得した各項目が、認定実技審査合格の水準で使用できるようになる。	プリント	柔道整復学の教科書を用いて、各損傷の記載を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	まとめならびに確認		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	前期で習得した各項目が、認定実技審査合格の水準で使用できるようになる。	プリント	柔道整復学の教科書を用いて各損傷の記載を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	まとめならびに確認		